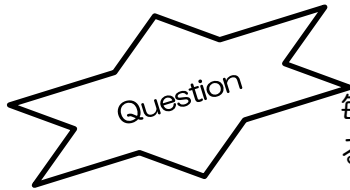


5分で読める!?

要介護認定調査ニュース

Vol.5

平成29年度がスタートして2か月。新人職員を受け入れた事業所も多いと思います。
なんとなく慌ただしい時期ではありますが、新人さんもベテランの方も、一緒に読んで要介護認定調査のスキルアップを図っていただけると幸いです!



調査時に「知らない子どもが来ていたずらをしていく。」との発言が毎日あると聞き取りました。立ち会い者によると、医師からは幻視による発言だと言われているとのこと。

さて、このケースで《4-2 作話》について正しい選択は「ない」「ある」?

認定調査員テキストによると・・・

定義:「作話」行動の頻度を評価する項目である。

ここでいう「作話」行動とは、事実とは異なる話をするることである。

- * 自分に都合のいいように事実と異なる話をすることや、起こしてしまった失敗を取りつくろうためのありもしない話をすることも含む。

作話について、上記ケースのように幻視・幻聴がある場合、選択に迷った経験はありませんか?

あきらかに幻視・幻聴があることを調査員が知り得る場合、(たとえば診断が出ていることを知っている場合)は特記のみに記載をし、マークはつけないください。

幻視・幻聴なのか作話なのか調査員が判断つかない場合、作話としてマークを付けて構いません。

POINT!

この項目においては、調査対象者がその事象を事実と認識した上で「事実とは異なる話をする」場合が該当します。調査対象者が幻視などにより見えたものを事実と認識したうえで、そのとおりの話をしているときは、ここでいう「作話」には該当しないとなります。

よって、上記のケースでは「ない」を選択したうえで、特記事項に具体的な状況と介護の手間を記載してください。



「5分で読める要介護認定調査ニュース」のバックナンバーを金沢区ホームページでご覧いただけます!

金沢区役所HP [くらしの情報⇒介護保険](#)

平成29年6月2日

発行元: 横浜市金沢区高齢・障害支援課
介護保険担当 電話 788-7868